

第45回全日本U-12サッカー選手権大会北海道大会 道東ブロック予選

開 催 要 項

- 1 主 旨 日本将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。この趣旨を受けて、本大会を実施し、北海道大会へ道東ブロック代表として出場するチームを決定する。
- 2 名 称 第45回全日本U-12サッカー選手権大会北海道大会 道東ブロック予選
- 3 主 催 公益財団法人北海道サッカー協会
- 4 主 管 一般社団法人十勝地区サッカー協会、十勝少年サッカー連盟
- 5 後 援 帯広市、帯広市教育委員会
- 6 特別協賛 YKK(株) (調整中)
- 7 協 賛 花王 日清オイリオグループ ゼビオ 日本マクドナルド カバヤ食品 (調整中)
- 8 協 力 モルテン (調整中)
- 9 期 日 令和3年9月19日(日)
- 10 会 場 十勝川河川敷サッカー場
- 11 参加資格
 - ① 「参加チーム」は、2021年度に(公財)北海道サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。道東地区4ブロック(十勝、釧路、網走、根室)の予選を経て、所轄の地区協会が代表と認めたチームであること。
 - ② 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限られ、その「加盟チーム」は年間を通じて継続して活動していること。
 - ③ 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会登録第4種登録選手であること。ただし、U-6選手の参加は認めないものとする。
 - ④ 地区予選からブロック大会・決勝大会に至るまでに、同一「参加選手」が異なる「加盟チーム」への移籍後、再び参加することはできない。
 - ⑤ 第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、前項③は適用される。
 - ⑥ 「参加チーム」及び「参加選手」は、各ブロックの代表となったチーム・選手とする。当該チームの地区予選での登録選手が20人に満たない場合は、「加盟チーム」内の選手の中から補充することができる。
 - ⑦ 参加チームはU-12リーグに参加していること。ただし新型コロナウイルス感染症対応の影響により、所属するU-12リーグが開催されない場合、本項は適用外とする。
 - ⑧ 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、ベンチ入りするチーム役員は2名以上3名以下とし、うち1名以上は(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有すること。
※第46回大会以降、ベンチ入りする指導者(監督・コーチ等)全員が(公財)日本サッカー協会公認指導者ライセンス(D級コーチライセンス以上)を有することが義務付けられるので、注意すること。
 - ⑨ 参加選手は健康であり、かつ大会参加に関し保護者の同意を得たものでなければならない。
 - ⑩ 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険など)に加入していること。
- 12 参加チーム及びその数
 - ① ○十勝地区～ 5チーム
○釧路地区～ 2チーム
○オホーツク地区～ 3チーム
○根室地区～ 2チーム 計12チームとする。
 - ② 本年度の開催地である十勝地区には開催地枠1が含まれる。
- 13 競技規則 (公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」「8人制サッカー競技規則」による。ただし、詳細に関しては、本大会用として競技方法に定める。

14 競技方法

- ① 12チームによる3ブロック(1ブロック4チーム)のトーナメント戦を行う。
○ブロック1位の3チームが道東ブロック代表として北海道大会への出場権を得ることができる。[2021年10月9日(土)・10(日)千歳地区]
- ② 競技のフィールド
○フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。
○ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
※ゴールは競技者が負傷しないように安全に設置しなければならない。
・交代ゾーン: 自由な選手交代のため、ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける(ハーフウェーを挟んで3mずつ)
○その他ペナルティエリア等の長さに関しては8人制サッカールールに準ずる。
- ③ 試合球
○試合球は少年用公認4号球とする。
- ④ 競技者の数および交代
○1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者の内1人はゴールキーパーとする。本大会において8人に満たない場合は試合を開始しない。
※試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合にはそのまま続行する。
○登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
○交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
○交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。主審・補助審判の承認を得る必要はない。
○ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。ただし、交代して退くゴールキーパーは、境界線の最も近い地点からフィールドの外に出なければならない。
○交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- ⑤ テクニカルエリアを設置する。
ベンチ入りの人数
○登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、ベンチ入りするチームの役員数は2名以上3名以下とする。
- ⑦ ○その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。
試合時間
○試合時間は前、後半とも20分間とし、ハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始まで)は10分とする。
○既定の時間内に勝敗が決しない場合は、いわゆるPK方式で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし代表決定戦においては、前・後半5分ずつの延長戦を行い、なお決しない時はPK方式で勝者となるチームを決定する。
○代表決定戦において、延長戦に入る前のインターバルは原則5分間、PK方式に入る前のインターバルは原則1分間とする。
- ⑧ 暑熱下において、前・後半中程に飲水タイムを採用する。(採用については、大会本部で決定し、チーム・審判員へ伝える。)
- ⑨ 負傷した競技者の負傷程度を確かめるために入場を許される引率指導者の数は2名以内とする。

- 15 ユニフォーム
- ① (公財)日本サッカー協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。ただし、(2)以下については、一部本大会(北海道大会)の緩和規定として採用する。
※あくまで(公財)北海道サッカー協会4種委員会の緩和規定であるので、全国大会は、この限りではないので注意。また、ブロック予選においては、以下の原則順守するものとする。
 - ② ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ソックス)については、正と色彩が異なり判別しやすいユニフォームを参加申込書の際に記載し、各試合に必ず携行し、いずれかを着用しなければならない。(FP・GK用共)。ユニフォームは、(公財)北海道サッカー協会に登録されたものを原則とする。
※なお、大会主催者が認めた場合に限り、デザインやロゴが異なっても同系色のユニフォームであれば着用を可能とする。
審判員は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち会いのもとに、その試合におけるユニフォームを決定する。また、その際は、登録された2組のユニフォームのうちからシャツ・ショーツおよびソックスのそれぞれについて判別しやすい組み合わせを決定することができる。(ゴールキーパーのみ、登録された4組のユニフォームから判別しやすい組み合わせを決定することができる。)
 - ③ ゲーム進行時、ゴールキーパーがフィールドプレイヤーとなる場合(その逆の場合も)については、シャツの交換のみでもよいこととする。また、その場合、ゴールキーパーは、他の選手との判別がつくのであれば、ゴールキーパーとして登録しているユニフォームでなくてもよいものとする。
 - ④ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
アンダーシャツ・アンダーショーツ・タイツの色は問わないが、原則としてチーム内で同色のものを着用する。
 - ⑤ Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし一部でも仕様異なる場合は認められない。ユニフォームへの広告表示については本号⑭に準じる。
 - ⑥ シャツの前面・背面に参加申込の際に登録した選手番号を付けること。ショーツの選手番号についてはつけることが望ましい。
選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。
※公益財団法人日本サッカー協会ユニフォーム規程第10条において適用除外を受けた主審、副審(2人)、予備審判の4名で運営する。
※グリーンカードを積極的に採用するように心がける。
- 16 審判員
- 17 マッチウエルフェアオフィサー
- すべての試合において配置する。
- 18 懲罰
- ① 本大会の予選は懲罰規定上の同一の競技会とみなし、予選終了時で退場・退席による未消化の出場停止処分は本大会において順次消化する。
 - ② 本大会の地区予選で受けた警告については、累積として本大会には持ち越さないものとする。
 - ③ 本大会は、本協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。
大会規律委員会の委員長は、主管地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
 - ④ 本大会期間中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
本大会期間中において退場を命じられた競技者は、本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の措置については本大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
本大会諸規定および本記載事項にない事項に関しては、大会規律委員会にて決定す
 - ⑤ 11,880円
- 19 参加料
- 20 参加申込み
- 参加チームは以下の手続を期日までに完了すること。

- ① 参加申込書・プライバシーポリシー同意書の提出
 所定の用紙をEメールで申込み先A宛に提出する。
 申込みを受けた地区協会はKickoffにて登録状況を確認し、申込み先B宛にデータを提出すること。同時にプライバシーポリシー同意書も提出すること。
- ② 大会参加料(11,880円)の納入 申込み締切日までに下記指定口座に納入すること。
- ③ 親権者同意書の提出 捺印のうえ郵送で(公財)北海道サッカー協会宛に送付すること。
 〒062-0912 札幌市豊平区水車町5丁目5-41 北海道フットボールセンター内
 公益財団法人北海道サッカー協会 宛
- ④ 選手変更・追加登録は、所属地区協会を通じてEメールで申込み先Bに届出のこと。
 9月8日(水)15時必着
- ⑤ 参加申込み締切り 令和3年9月6日(金)17時必着とする。

【申込み先】 A:所属地区サッカー協会
 B:一般社団法人十勝地区サッカー協会
 〒080-0018 帯広市西8条南18丁目3-3 大西ビル内
 TEL (0155)21-6626
 Email: tfa@tokachifa.com

※Bは取りまとめのうえ、(公財)北海道サッカー協会へ提出すること。

入金先 帯広信用金庫 中央支店
 口座名 (社)十勝地区サッカー協会 会長 草野康一 (くさのこういち)
 口座番号 普) 1213914

- 22 組合せ 9月7日に作成する。(道東ブロック第4種代表者会議確認のとおり)
 組合せは各地区協会に送付する。各地区協会より参加各チームに送付すること。
 十勝地区サッカー協会ホームページ上でも確認できる。
 URL: <http://tokachifa.com/>
- 23 帯同審判 ① 出場チームは(公財)日本サッカー協会審判員(2級以上)を帯同させること。
 帯同する審判員の氏名、資格などを参加申込書に記載すること。
 ② 帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。監督が帯同審判員を兼ねることはできない。
 ③ 帯同できない場合は、不帯同料として7,560円を大会参加料と同時に納入すること。
- 24 選手証 各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし写真貼付により顔の認識ができるものであること。選手証とは、本大会では、(公財)日本サッカー協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録一覧を印刷したもの、またはスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- 25 監督会議 令和3年9月19日(日) 9時より大会本部で行う。監督は必ず出席すること。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。
 ※但し、感染症の状況によっては、実施をせずに、事前に大会本部より文書にて注意事項や確認事項の周知を行うこと、または大会前々日にオンラインで開催することもある。
- 26 開会式 令和3年9月19日(日) 9時30分より大会本部前で行う。欠席の場合は本大会への参加を停止することもある。
 ※但し、感染症の状況によっては、実施しない場合、または大会前々日にオンラインで開催することもある。その場合は、各チームへ事前に連絡をする。
- 27 閉会式 各ブロック優勝チームの参加とする。各ブロック優勝チームを表彰する。

- ① 優勝チームは2021年10月9日(土)～10日(日)に千歳地区で開催される予定の北海道大会への参加を義務付ける。なお、優勝チームが新型コロナウイルス感染症の影響を事由に出場を辞退した場合、準優勝チームが繰り上げて参加することができる。
- ② 当該チームの北海道大会での登録数が20名に満たない場合は、同一クラブ内の選手から補充することができる。(全国大会は、1次登録選手は、最大20名、役員は上限なしだが、最終登録段階で選手16名、役員6名と絞ることになるので、注意。)
- ③ 大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する。
- ④ 大会参加チームは、新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で関係者から感染者が出た場合は、本大会運営委員会において協議の上、対処する。
- ⑤ 本大会は大会期間を通じて「感染対策担当者」を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。
- ⑥ 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は本大会運営委員会(主管地区協会理事長、競技委員長、審判委員長等で構成)において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
- ⑦ 大会実施日の9月19日(日)が緊急事態宣言の期間内となった場合は大会を実施せず、代表決定方法については抽選とする。なお、抽選方法等は別途決定の上、通知する。

以上